

医学研究センター

研究主任部門

海老原 康博
(部門長)

1. 構成員

部門長 海老原康博 (EBIHARA Yasuhiro) : 国際医療センター中央検査部: 教授 (任期: R7.3.31)
副部門長 下岡聡行 (SHIMOOKA Toshiyuki): 保健医療学部医用生体工学科: 教授 (任期: R7.3.31)
佐藤 毅 (SATO Tsuyoshi) : 大学病院口腔外科: 准教授 (任期: R7.3.31)
百瀬 修二 (MOMOSE Shuji) : 総合医療センター病理部: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員 町田早苗 (MACHIDA Sanae) : 医学研究センター: 講師
医学部の全基本学科及び保健医療学部の各学科研究主任

2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第3条により構成され、第9条に則り、研究現場とセンターの密な連絡を保つための活動を行うこと業務としている。研究主任に対して、基本学科の研究の責任者であると同時に研究費を適正に管理・運用する責任者であることも自覚していただき、適正な運用を推進するよう指導する。研究者向けの情報を発信し、研究主任から各所属部署内での周知徹底を依頼する。学内での共同研究が推進できるよう体制整備に努め、支援活動を行う。学内グラント成果発表会を2回/年開催し、学内の研究推進を図る。

3. 活動実績

(1) 学内グラント受賞者成果発表会の企画・開催

ア 第24回学内グラント受賞者成果発表会

2022年7月15日(金曜日) 17:00~18:50

毛呂山キャンパス第3講堂

総合医療センター 管理棟2階 カンファレンス1 (テレビシステム中継)

国際医療センター 教育研究棟 5階会議L-5-2 (テレビシステム中継)

学内LAN ライブ配信

ビデオ収録配信

発表内容

演題1: 17:05~ 座長: 久保田 寧 (医学部 総合医療センター 輸血部)

百瀬 修二 (医学部 総合医療センター 病理部)

「D型サイクリンを標的とした高悪性度B細胞リンパ腫の分子基盤の解明と臨床応用」

演題2: 17:20~ 座長: 中山 伸朗 (医学部 埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科)

中野 貴成 (医学部 生化学)

「NPC1L1を介した腸上皮細胞内コレステロール輸送阻害と脂肪滴形成」

演題3: 17:35~ 座長: 佐藤 弘 (医学部 国際医療センター 消化器外科)

鈴木 啓介 (医学部 埼玉医科大学病院 小児外科)

「先天性食道閉鎖症に対する同所性生体内組織形成術 (Orthotopic iBTA) を用いた一期の食道再生の研究」

演題4: 17:50~ 座長: 浅野 彩 (医学部 埼玉医科大学病院 乳腺腫瘍科)

川崎 朋範 (医学部 国際医療センター 病理診断科)

「Insulinoma-associated protein 1 (INSM1) expression in breast carcinomas with neuroendocrine morphologies: application and future perspectives」

参加人数: 合計91名

毛呂山キャンパス 27名

日高キャンパス 2名

川越キャンパス 4名
ライブ配信視聴者 49名
録画配信視聴者 9名

イ 第25回学内グラント受賞者成果発表会

2023年3月26日（金曜日）17:00～18:10

毛呂山キャンパス 本部棟 第3講堂

川越キャンパス 管理棟4階 会議室2（テレビシステム中継）

日高キャンパス 教育研究棟2階 会議室1（テレビシステム中継）

学内LANライブ配信

ビデオ収録配信

発表内容

演題1：17:05～ 座長：井上 成一郎（医学部 総合医療センター小児外科）

羽藤 泰（医学部 総合医療センター呼吸器外科）

「がん微小環境正常化を伴う強力な免疫療法後に手術を併施する意義の検証」

演題2：17:20～ 座長：周防 諭（医学部 薬理学）

水野 由美（中央研究施設 実験動物部門）

「精子形成におけるセルトリ細胞を中心とした細胞間コミュニケーションの解明」

演題3：17:35～ 座長：山岸 敏之（保健医療学部臨床検査学科）

鈴木 歩（医学部 基礎医学部門 ゲノム基礎医学）

「Maxは生殖細胞に減数分裂開始能力を与えるか」

演題4：17:50～ 座長：梶原 健（医学部 埼玉医科大学病院 産婦人科）

平崎 正孝（医学部 国際医療センター がんゲノム診療科）

「Mbd3によるエピプラスト幹細胞の幹細胞性維持と分化の方向性の決定機構の解明」

参加人数：合計92名

毛呂山キャンパス 29名

日高キャンパス 4名

川越キャンパス 6名

ライブ配信視聴者 53名

録画配信視聴者 25名

(2) 埼玉医科大学雑誌49巻1号医学研究センター研究主任部門報告

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

本年度から、学内グラント受賞者成果発表会の発表者は学内グラント受賞により得た資金を使って、翌年以降に科研費を獲得できた発表者に限って発表を行なっている。内容・形式を改善し、科研費を獲得するために工夫した点も含めた発表にすることで、より多くの参加が得られ、活発な討論を展開できるように対策している。また、新型コロナウイルス感染拡大の対応により、会場での参加に加えて、ライブ配信を取り入れて学内グラント成果発表会に参加しやすい環境を取り入れた。この結果徐々に参加者が増加傾向にあると考えられる。また、毎月行われている医学研究センター運営会議議事録（抜粋）を各研究主任で送付して情報提供を行なっている。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

今後は、全学規模で行われて「オール埼玉医大研究の日」とも連携して、学内グラント受賞者成果発表会により多くの参加が得られるようにさらなる改善を行っていく。

医学研究センター運営会議議事録（抜粋）に限らず、研究主任を通して3キャンパス内で行われている研究の内容を学内研究者に情報提供し、共同研究・研究連携を推進する。